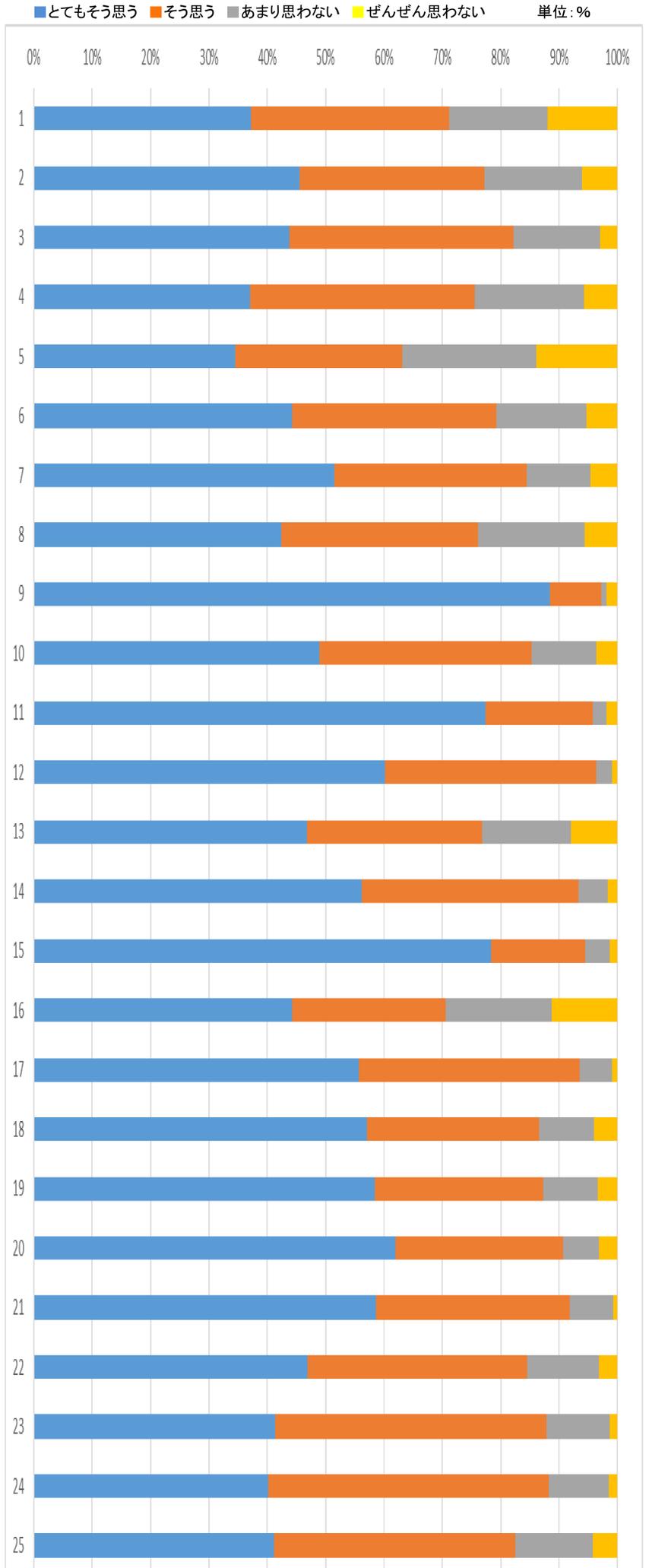


令和5年度 新宿区立四谷小学校 学校評価 児童アンケート結果(後期) ※回答率89%

<質問項目>	○前年度+3ポイント以上 ▼前年度-3ポイント	肯定的回答割合		
		R4後期	R5前期	今回
1 学校へ行くのは楽しい。		84.3	83.2	82.5
2 友だちや先生の話集中して、しっかりと聞いている。(関係のない話をしない、手遊びをしない)		89.1	89.1	88.1
3 チャイムがなったら席についている。用がないのに、途中で立ち歩かない。		87.8	88.0	87.9
4 四谷小の友達は、元気に挨拶と返事ができていると思う。		90.1	88.7	▼84.6
5 先生はわたしたちの話をよく聞いてくれる。		93.1	94.8	91.9
6 実物投影機やパソコンなどを使った授業は分かりやすく楽しい。		87.7	87.1	89.5
7 タブレットPCなどを使って、「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業が好きだ。		82.9	85.3	○87.3
8 調べる授業は、楽しい。		86.9	89.4	86.8
9 先生の授業は分かりやすいと思う。		95.8	95.5	93.6
10 休み時間は、校庭や屋上でよく遊んでいる。		80.8	▼73.8	▼70.6
11 クラスには、仲のよい友だちがいる。		96.0	96.1	94.7
12 友だちが困っていたら、助ける。		92.5	○94.9	93.4
13 給食は好ききらいをしたり、なるべく残したりしないで食べている。		79.8	80.5	▼76.7
14 避難訓練で練習した安全を守るやり方を身につけ、地しんや火事のそなえに協力し、自分の身を守ることができる。		96.8	96.2	96.5
15 いじめはいけないことだと思う。助けられないものいけないと思う。(ぼう力、らんぼうな言葉、いやがることを言う、無理にさせる、ものをとる、かくす、無視する)		95.4	97.1	96.0
16 いじめなどの問題があるときには、すぐに先生に相談することができる(しようと思う)。		87.5	85.7	85.5
17 インターネットやけいたい電話、スマートホンで人をきずつけたり、名前や住所を書いたり、写真を送ったりしてはいけないと思う。		96.8	96.4	97.2
18 学校での授業や行事のことなどについて、家の人に自分から話している。		82.3	79.8	▼77.6
19 学校以外の人(警察・消防・福祉・水道・商店・スポーツ選手等)から学ぶ学習に取り組んだ。		79.8	▼69	○84.6
20 学校に関わる地域の人(スマイルクラブの皆さん)から様々なことを教わったり、一緒に活動したりしたことがある。		78.0	▼71.5	79.2
21 毎日、時間を決めて宿題をしている。		67.3	64.9	▼63.2
22 早寝、早起きをして、朝ごはんを食べている。		78.0	78.0	75.7
23 自分は、挨拶や返事を大きな声でできている。		82.1	83.7	82.5
24 前の日に、忘れ物がないように調べてくる。		82.3	82.1	▼77.4
25 ゲームやテレビを見る時間を決めて、守っている。		73.2	70.5	71.3



□11番、12番、14番、15番は、昨年度からも日頃の生活指導や学級指導の丁寧な取組により、児童の高い意識が安定して継続されている。
 □9番は、高い数値が継続されている。今後も子供たち1人1人にあった学びを充実させていくとともに、分かりやすい授業づくりを図っていく。
 □5番は、高い数値が継続されている。児童の話や気持ちに寄り添い、何かあったときには、学校職員全体で対応できるように情報共有していく。
 □7番や8番は、子供が活用するICTの効果的な活用を教師が考え、子供が積極的に活用できる機会と技術面のサポートもして情報能力を向上させていく。
 □17番は、95%以上を維持している。今後も情報モラルへの高い意識が継続できるよう声掛けを継続していく。
 □19番や20番は、肯定的回答が15ポイント以上に上回っている。スマイルクラブや地域の方やゲストティーチャーの活用や出前授業の取組の成果である。
 □23番は、昨年度以降大きな向上が見られた項目である。挨拶等の取組によって数値が維持・向上されていると考えられている。継続したい。→対面式での活動も増えてきている。挨拶運動や委員会での取組などを通して、継続していく。
 ■18番は感染症の落ち着きと共に家庭内で親子で過ごす時間が減ったことも考えられる。必要な情報発信に努めたい。

- 1番、16番は、入さな数値の変化は見られないものの、80%以上を維持している。4番は数値が下がっている。
→生活指導・道徳教育を通じて、数値を上昇させていく必要がある。4番は、友達の行動にも目を向ける機会や一緒に高め合える環境づくりに取り組む。
- 10番は低い数値が続いている。
→学級数が増え工事が終わるまでは、満足できる遊ぶ場所の提供が難しい部分がある。児童にとって有意義な教育活動となるよう休み時間確保及び安全管理を可能な限り行っていく。
- 21番や25番は、低い数値が続いており、改善できるよう引き続き、保護者会などで家庭と連携を図っていく。
- 22番は、生活リズムを意識した学校生活を送れるよう朝会や食育指導等で話をして継続して声掛けを行う。